

# 平成23年度幸区区民会議

## 第7回全体会議 環境部会経過報告

平成24年3月29日

1

## 環境部会 第3期活動報告

### (1) 第3期区民会議の検討概要

- 1) 継続テーマの選定
- 2) 新規テーマの選定
- 3) 部会の体制

### (2) 具体的な取組内容の検討

- 1) 新規テーマの具体的な検討
  - ① ゴミの分別のPR・イベントの実施
  - ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施
- 2) 継続テーマの具体的な検討

### (3) 第3期区民会議からの提言

- 1) 新規テーマの提言
- 2) 継続テーマの提言

2

## (1) 第3期区民会議の検討概要

### 1) 継続テーマの選定

各委員から提案された取組内容を整理し、全体会において、第2期からの継続テーマと、第3期からの新規テーマを選定した。

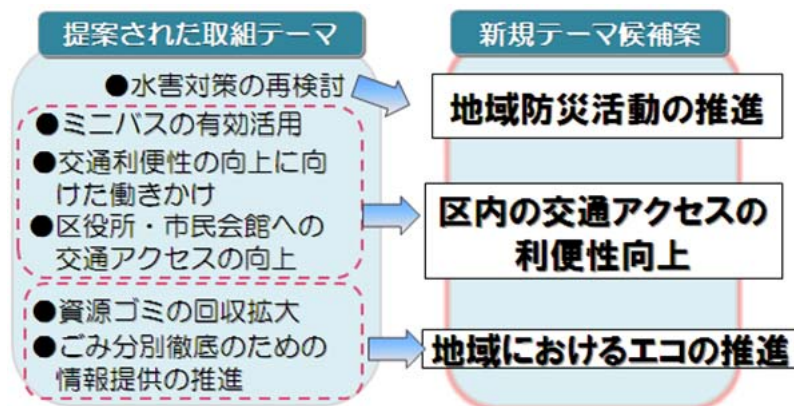
新規・継続テーマの案の内容を勘案し、2つの部会を設定し、本部会(A部会)においては自転車の通行マナーを向上させる取組の推進を継続テーマとした。

3

## (1) 第3期区民会議の検討概要

### 2) 新規テーマの選定

新規テーマは、提案された複数のテーマについて部会で検討を行い、次の3つのテーマを候補とした。



4

## (1) 第3期区民会議の検討概要

### 2) 新規テーマの選定

新規テーマの案は3つを設定したが、部会の検討の中で絞り込みを行い、環境問題をゴミだけでなく、地球温暖化や水害等、幅広いテーマを身近な視点で捉える「**地域におけるエコ・環境の推進**」を新規テーマに選定した。

(主な議論)

- ・区内の公共交通アクセスの問題や地域防災の問題と比較すると、**環境エコの問題は自分たちの身近なテーマ**。
- ・地球温暖化は深刻で複雑な問題であるが、**まずは自分たちができることから取組を始める必要がある**。
- ・ゴミの問題については、ゴミ出しのルールを徹底するなど、**ゴミを出す人の意識の啓発等が必要**である。

5

## (1) 第3期区民会議の検討概要

### 3) 部会の体制

当初A部会として発足したが、新規テーマなど取組内容を勘案し、簡潔で分かりやすい名前として、正式な部会名を「**環境部会**」に決定した。

また、部会長・副部会長は委員の互選により、次の両名に決定した。

・部会長: 君和田委員 / 副部会長: 石原委員



6

## (2) 具体的な取組内容の検討

### 1) 新規テーマの具体的な検討

「地域におけるエコ・環境の推進」の具体的な展開として、平成23年度から全市で開始されたミックスペーパー回収と関連し、区民のゴミ分別意識の啓発活動に取り組むこととなり、次の4つの内容を検討、①・②の項目に具体的に取組むこととなった。

- ① ゴミの分別のPR・イベントの実施
- ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施
- ③ 区民を対象としたエコ関連施設見学会の企画・実行
- ④ 町内会・自治会等と連携したゴミの分別状況調査の実施

7

## (2) 具体的な取組内容の検討

### ① ゴミの分別のPR・イベントの実施

区民への分別意識啓発のため、平成23年10月に実施された区の2つのメインイベントにおいて次のような意識啓発活動を実施した。

- 1) ブースでのゴミ分別ゲームの実施
- 2) のぼり・ジャンパーによるPR

イベント	開催日時	実施内容
リレーカーニバル	10/2(日)	・のぼり・ジャンパーによる区民会議のPR
幸区民祭	10/15(土)・16(日)	・ブースでのゴミ分別ゲームの実施

8

## (2) 具体的な取組内容の検討

### ① ゴミの分別のPR・イベントの実施

#### (ブースでのゴミ分別ゲームの実施)

区民会議のブースを設置し、参加者に簡易なゴミ分別ゲームを実施、参加記念品の配布(エコ缶キャップ)も行った。



9

## (2) 具体的な取組内容の検討

### ① ゴミの分別のPR・イベントの実施

#### (のぼり・ジャンパーによるPR)

区民会議でお揃いのジャンパーを作成。委員が着用し、のぼりを立て、参加者への区民会議のPRを行った。



10

## (2) 具体的な取組内容の検討

### 1) 新規テーマの具体的な検討

#### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施

出前講座は、川崎生活環境事業所と連携して実施することとなり、区民会議では主に学校との調整と出前講座の企画立案に取り組んできた。

##### (取組の基本的な方向性)

- ・出前講座の実施は、専門的な知識を有し、既に出前講座を実施している川崎生活環境事業所の協力を得て実施。
- ・区民会議では、出前講座の企画立案や、学校との調整を行う。
- ・内容としては、小中学生に興味や主体性を持ってもらうことを重視し、ゴミ分別ゲームなどのプログラムを用意。
- ・講座の終了後、学校や家庭の協力を得て、分別意識向上や実践状況を把握するアンケートを実施。

11

## (2) 具体的な取組内容の検討

#### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施

##### (学校別の交渉担当)

学校ごとに担当を決め、適宜事務局と連携しながら出前講座の実施の交渉を進めてきた。

学校名	担当委員
南河原中学校	西野委員
御幸中学校	君和田委員
塚越中学校	齋藤委員
日吉中学校	石原委員
南加瀬中学校	石原委員

学校名	担当委員
幸町小学校	君和田委員
南河原小学校	西野委員
御幸小学校	君和田委員
西御幸小学校	齋藤委員
戸手小学校	齋藤委員
古川小学校	君和田委員
東小倉小学校	北野委員
下平間小学校	齋藤委員
古市場小学校	石野委員
日吉小学校	北野委員
小倉小学校	神谷(厚)委員
南加瀬小学校	神谷(厚)委員
夢見ヶ崎小学校	石原委員

12

## (2) 具体的な取組内容の検討

### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施 (学校別の実施状況)

4か月間で計13の小中学校で出前講座を実施した。

学校名	実施予定日	実施時間	対象	川崎生活環境事業所	幸区役所企画課	区民会議委員	
下平間小学校	10月19日(水)	2、3限	5年生	2人		北野委員	神谷(厚)委員
戸手小学校	10月20日(木)	1、2、3、4限	4年生			押山委員	君和田委員
古川小学校	10月21日(金)	1、2、3、4限	5年生			君和田委員	
南河原小学校	10月24日(月)	2、3限	5年生			押山委員	北野委員
東小倉小学校	10月27日(木)	3、4限	4年生			北野委員	石野委員
古市場小学校	10月28日(金)	2、3限	5年生			石野委員	
南加瀬小学校	10月29日(土)	2、3、4限	5年生			神谷(厚)委員	押山委員
幸町小学校	11月14日(月)	2、3、4限	5年生			君和田委員	押山委員
御幸小学校	11月15日(火)	2、3、4限	5年生			君和田委員	
南加瀬中学校	11月16日(水)	10:30～	PTA			石原委員	神谷(厚)委員
西御幸小学校	11月25日(金)	5、6限	5年生			石野委員	齊藤委員
南河原中学校	1月20日(金)	1、2、3、4限	2年生			押山委員	西野委員
夢見ヶ崎小学校	2月28日(火)	2、3限	6年生			石原委員	神谷(厚)委員

13

## (2) 具体的な取組内容の検討

### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施 (出前講座の企画立案:出前講座の概要)

企画立案として、まずは出前講座の概要(プログラム)を次のように設定した。

時間	項目	担当
3分	・開会の挨拶 ・区民会議の概要の説明 ・出前講座実施の趣旨説明	区民会議委員
2分	・出前講座の概要説明	
20分	・分別ゲームの実施	(講師) 川崎生環職員
5分	・資源のリサイクルについて	(補佐)
4分	・MP・プラ分別の効果の提示	区民会議委員
1分	・閉会の挨拶	区民会議委員

14

## (2) 具体的な取組内容の検討

### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施

(出前講座の企画立案: 分別ゲームのルールづくり①)

出前講座のメインコンテンツである「ゴミ分別ゲーム」の内容は、委員が子供たちの視点に立ってプレゲームを行いながら内容を詰めた。



15

## (2) 具体的な取組内容の検討

### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施

(出前講座の企画立案: 分別ゲームのルールづくり②)

プレゲーム実施後、ゲームのルールや出題するゴミ等の内容についての改良・追加点などを中心に検討を行い、内容を固めた。

(ゲームのルール・流れ)

- ゲーム開始前に4人1組を基本として班を構成し、各テーブルなどに班ごとに分かれて座る。
- ゲームの回答は、班の中で相談して決めるものとする。
- 回答は、市の分別方法に従うものとし、分類名が書かれたカゴに、個々のゴミを入れるものとする。
- ゲームの趣旨の説明の後、5分間の回答時間を与える。各班では、用意されたゴミをその時間の中でカゴに分類。
- 回答終了時間になったら講師が終了を告げ、用意したゴミを1つ1つ取り上げながら、正解を発表していく。
- 講師による正解の発表は、どの分別方法が適切かの説明を適宜加えながら行う。

16



## (2) 具体的な取組内容の検討

### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施

(出前講座の企画立案: 分別ゲームのルールづくり③)

出題したゴミは24種あり、ミックスペーパー・プラスチック製容器包装の他、普通・資源集団回収・ペットボトルなど全項目とした。



17

## (2) 具体的な取組内容の検討

### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施

(実施した出前講座: 開会挨拶・趣旨等の説明)

開会の挨拶・趣旨等の説明は、区民会議委員が担当し、区民会議の概要についても紹介した。



18

## (2) 具体的な取組内容の検討

### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施

#### (実施した出前講座: 分別ゲームの様子①)

分別ゲームは班ごとに相談する形式で実施。委員がサポートを行った。一部学校の様子は、地元CATV (YOUテレビ) でも放映された。



19

## (2) 具体的な取組内容の検討

### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施

#### (実施した出前講座: 分別ゲームの様子②)

解答・解説は川崎生活環境事業所の職員が担当し、24個のゴミ別に答えを確認しながら解説を行った。

終了後は質疑の時間を設けた。

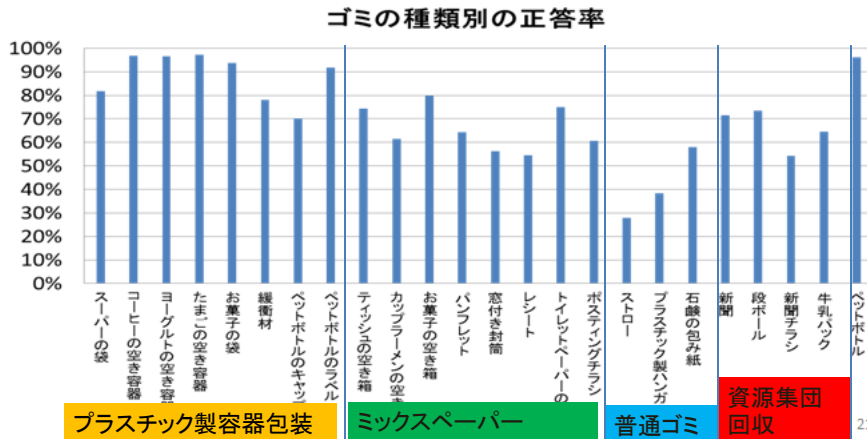


20

## (2) 具体的な取組内容の検討

### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施 (ゴミ分別ゲームの結果分析①)

ゴミ分別ゲームは学校別・種類別に正答率等を集計し、どのゴミが間違いやすいかなどを分析した。



## (2) 具体的な取組内容の検討

### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施 (ゴミ分別ゲームの結果分析②)

項目	内容
総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスチックの分別は、総じて分別の方法への理解が高く、人による理解の差も少ない</li> <li>ミックスペーパーの分別は、総じて分別方法への理解が低く、人による理解の差も大きい (情報提供を含む意識啓発を行う際には、特にミックスペーパーを重点的に行うことなどが必要)</li> </ul>
プラスチック製容器包装	<ul style="list-style-type: none"> <li>全般的に理解が高いが、ペットボトルのキャップ、緩衝材の理解が若干低い</li> <li>プラスチック製容器包装の対象でないもの(ストロー、ハンガーなど)との区別が分かりにくい</li> <li>「汚れているものは汚れを落として出す」など、分別項目以外の知識の啓発も重要</li> </ul>
ミックスペーパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>窓付き封筒、レシート、パンフレット、カップラーメンの空き容器、ポストインのチラシの理解度が低い</li> <li>特に資源集团回収との差異が分かりにくいことが想定される</li> </ul>
資源集团回収	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞折り込みのチラシ、牛乳パックなどの理解度が低い</li> </ul>

## (2) 具体的な取組内容の検討

### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施 (家庭における実践状況の把握: アンケートの実施)

講座終了後、学校の協力を得て、家庭における実践状況等を調査するため、次のアンケートを実施した。

項目	設問
居住環境	問1 住んでいるところ(戸建てか集合住宅か)
講座実施前の状況	問2 今回の分別出前講座を受ける前まで、ミックスペーパー・プラスチック製容器包装の分別回収が去年3月から始まったことを知っていたか。
	問3 今回の分別講座を受ける前まではどのくらい分別ができていたか。 (実施状況を百分率で回答)
	問4 分別講座を受ける前まで、分別をしていなかったごみの種類はあるか。 (分別をしていなかったごみの種類を全て回答)
講座実施後の状況	問5 今回の分別講座を受けた後、どのくらい分別ができるようになったか。 (実施状況を百分率で回答)
	問6 分別講座を受けた後でも、分別をしていないごみの種類はあるか。 (分別をしていなかったごみの種類を全て回答)
分別への意見	問7 分別講座を受けた後でも、分別していないものがある場合、その理由は何か。 問8 ミックスペーパー・プラスチック製容器包装の分別についての意見 (自由回答)

23

## (2) 具体的な取組内容の検討

### ② 小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施 (家庭における実践状況の把握: アンケートの分析結果)

結果から、講座受講前の分別実践状況にかかわらず、受講後は分別実践率の大幅な向上が確認された。

項目	内容
地域(学校)による理解度	・MP・プラの分別が行われていることは、全体の約7割が把握している ・集合住宅の比率が高いほど、分別実施の理解度が低い(戸手小、東小倉小)
分別の実践状況(従前)	・種別で見ると、資源集団回収の実践率が最も低く(65%前後)、ミックスペーパーの実践率も低い(70%前後) ・「ほとんど分別できている」との回答は、3~10%前半(東小倉のみ21.4%)と非常に低い水準
分別の実践状況(従後)	・概ね20~30%程度が「ほとんど分別できている」と回答し、実践度は大きく向上 ・元々の実践度が高い地域(学校)も向上率は同程度かそれ以上に高い ・講座受講後も分別をしない理由は「やり方がわからない」が「めんどくさい」を上回る。継続的な情報提供や意識啓発が求められる

24

## (2) 具体的な取組内容の検討

### 2) 継続テーマの具体的な検討

継続テーマは、「自転車の通行マナーを向上させる取組の推進」とし、検討を行ってきた。

そういった中、平成23年10月に警察庁が「良好な自転車交通秩序の実現のための総合対策の推進について」との通達を発表。主に歩道における自転車走行の規制強化に向けた施策を位置付けるなど、社会的にも関心が高まっている状況にある。

25

## (2) 具体的な取組内容の検討

### 2) 継続テーマの具体的な検討

(意識啓発活動の実施: 日吉まつり)

平成23年11月の「日吉まつり」の際、区民会議が設置したブース及び周辺において、自転車のマナーアップ啓発活動を実施した。



26

## (2) 具体的な取組内容の検討

### 2) 継続テーマの具体的な検討

(部会での主な提案内容)

部会では主に次のような提案がなされた。これらの提案を元に、今後の取組内容を検討した。

提案	内容の詳細
警察と連携したマナーPR活動	・幸警察署等と連携し、街頭でチラシ配布などのPRを実施。
回覧板を活用したマナーアップPR活動	・自転車に対する罰則などを説明するような内容のチラシ等を作成し、町会単位で回覧板を回す。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーを向上させるには、厳罰化が必要であることから、「自転車の自賠責保険の導入」「交通違反の罰則細分化」の2つが必要である。</li> <li>・インパクトを与えることも重要なので、幸区で全国に発信するような大胆な取組を行っていく。</li> </ul>

27

## (2) 具体的な取組内容の検討

### 2) 継続テーマの具体的な検討

これまでの提案を元に検討を重ねた結果、幸区において「自転車マナーの日」を制定するなど継続的な取組を進めることを検討する。

#### (「自転車の日」の制定の概要)

- ・幸区の「自転車マナーの日」を関係団体との調整を前提に制定することを検討
- ・この日に合わせ、幸警察署や交通安全対策協議会、地域等と連携し、街頭で自転車に乗っている人にチラシを配布するなどの意識啓発活動を実施
- ・イベント時に、自転車マナーの啓発活動等を実施

28

### (3) 第3期区民会議からの提言

#### 1) 新規テーマの提言

新規テーマ「地域におけるエコ・環境の推進」では、これまでの検討や取組を通じ、次の提言を行う。

##### 提言

「ゴミの分別方法に対し、区民の目線に立ったわかりやすい情報提供を行い、ゴミ分別を徹底し、地球環境への意識向上を図る」

29

### (3) 第3期区民会議からの提言

#### 2) 継続テーマの提言

継続テーマ「自転車マナーの向上」では、これまでの検討や取組を通じ、次の提言を行う。

##### 提言

「定期的かつ継続的な意識啓発活動を展開し、区民の自転車マナーの向上を促進する」

30